



第 126 号(平成 30 年 9 月 20 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年 1 月 1 日～9 月 9 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	216	25	6	110	99	240	10
平成 29 年	225	46	3	121	82	252	26
前年同期比	-9	-21	+3	-11	+17	-12	-16
内)BC	-15	-2	+1	-4	-20	-25	-12

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	45	20.8%	8		24	19	51
	後立山	57	26.4%	6	2	28	25	61
	その他	28	13.0%	2	2	14	11	29
	計	130	60.2%	16	4	66	55	141
中央アルプス	15	6.9%	1		5	9	15	
南アルプス	6	2.8%		2	2	2	6	
八ヶ岳連峰	25	11.6%	4		19	9	32	
その他の山岳	40	18.5%	4		18	24	46	
計	216		25	6	110	99	240	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	63	29.2%	19		51		70
転倒	52	24.1%			52		52
病気	19	8.8%	2			17	19
道迷い	34	15.7%		2		41	43
落石	1	0.5%			1		1
雪崩	1	0.5%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	25	11.6%				30	30
不明・他	21	9.7%	3	4	6	11	24
計	216		25	6	110	99	240

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下			2	5	7	30人 18.8%			1	4	5	24人 30.0%	12	54人 22.5%
20代			2	6	8		1		3	7	11		19	
30代	3		7	5	15		1		6	1	8		23	
40代	5	0	9	11	25	60人 37.5%			12		12	25人	37	85人 35.4%
50代	2	2	17	14	35		1		6	6	13	31.3%	48	
60代	7	3	13	19	42	70人 43.8%	1		13	6	20	31人 38.8%	62	101人 42.1%
70以上	3	1	13	11	28		1		6	4	11		39	
計	20	6	63	71	160		5	0	47	28	80		240	
比率	66.7%						33.3%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
9月6日	北アルプス 有明山	65	男	道迷い	行方不明	単独で、有明山を登山中、道に迷い行方不明
6日、北アルプス有明山で男性Aさん65歳が道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、明朝、県警山岳救助隊、北アルプス南部地区遭対協が救助活動に従事する予定です。						
9月9日	中央アルプス 将棊頭山	64	男	転倒	負傷	西駒山荘から桂木場登山口に向けて下山中、転倒、負傷
9日、中央アルプス将棊頭山で、男性Aさん64歳がつまづいて負傷する山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

9月2週は2件の遭難が発生しました。単独登山は、ルート、天候等すべてを一人で判断しなくてはならず、高度な知識や技術が必要となります。さらに、万が一の際に救助要請ができないことがありますので、なるべく複数人で入山してください。また、こまめに地図で現在地を確認し、道迷いを未然に防ぎましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝